

全世界で若者の反乱が! 学生が未来をつくらう

9/9～10全学連大会に集まろう!

6月以降、南米・チリ全土で新自由主義教育への怒りのデモが爆発



法政大学文化連盟・洞口朋子



「3・11」と原発事故を受けて、あらためて「大学」という場所、「学生」という存在が問われています。今、日本と世界で多くの青年・学生が行動に立ちあがっています。しかし、野田新政権は、原発への怒りを叩きつぶして福島を切り捨て、原発再稼働に躍起となっています。「再稼働阻止」は絶対に負けれない、私たちの未来をかけた闘いです。

だからこそ、全学連大会で学生が一つになろう。必要なことは、大学を変えることです。原発をめぐる明らかになった、原発推進の御用学者の存在と利権にまみれた大学の腐敗。学生は政治や社会について考えることすら奪われてきました。「大学の中で学生が行動できない」、「おかしいことにおかしいとも言えない」—この現実こそが、福島原発事故を生み出したのではないのでしょうか。

法大闘争は、まさにこのような大学のあり方と真っ向から対決し、キャンパスを学生の手に取り戻すために闘って

てきました。法政大では、原発反対を訴える学生が処分され、学内で原発反対のビラをまけば職員に妨害されるという実に許しがたいことが起こっています。声をあげたら暴力的に抑えつける。これとまったく同じ構造が今、「フクシマ」にもあります。私は、この秋の全国学生の反原発闘争を爆発させるためにも、法大の許しがたい学生支配を絶対にぶっ飛ばしたい!

すべての学生みなさん! 全学連大会への全国学生の大結集の力で、大学から反原発闘争の火柱をあげよう!



6・11新宿2万人反原発デモの先頭に立つ法大文化連盟



全日本学生自治会総連合 (織田陽介委員長)

Tel/Fax 050-3036-6464 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

◆京都大学・熊野寮生

3・11以降、原発事故を通して社会の矛盾が噴き出している。チェルノブイリに匹敵する放射能汚染、原発を安全とのたまう御用学者と政府・マスゴミ、被ばく労働と下請け構造。誰もが只事ではないと思い、政治行動に無縁だった人がデモや集会に決起している。そのエネルギーが社会を揺るがし、浜岡原発をはじめ40基以上の原発を停止に追い込んだ。さらに、直接行動に対する確信が広がっている(かくいう私自身もそうだ)。そして、原発を推進させているのは職場・大学での新自由主義の横行であり、これを粉砕することが原発廃止の鍵を握っているといえよう。

いま社会にある矛盾を規定しているのが新自由主義であり、新自由主義がやったことは労働組合と学生自治会の破壊だ。だから、労働組合と学生自治会を復権させよう。新自由主義に反撃し一定の勝利をあげているのが、法政大学での闘いだ。それが今、反原発運動の高揚につながっている。ここ京大でも、熊野寮生有志を中心に法大闘争に取り組んできたが、それが京大での自治権力復権の原動力になっている。京大では今年7月15日に学生自治会の政治的復権をやるべく、学生の声をクラス討論を通じて束ね、結果としてキャンパスでの原発推進一節電キャンペーンを粉砕することに成功した。私は、9月9日～10日の全学連大会への参加をみなさんに訴えたい。大会には、法大闘争を闘い全国で学生自治会の復権に取り組む学生たちが集まり、学生の生き方と秋の方針をめぐって討論が交わされる。一人でも多くの結集を待っています!

◆富山大学・2年生

私は、3・11の福島原発事故から「原発は廃止しなくてはならない」と思い、日々ネットや新聞をチェックしたり、学習会に参加したりしています。みなさんもお存じのように、私たちが通っている大学が原発推進に積極的に加担しています。大学であるにも関わらず、自分の好きな勉強ができないこと、サークル活動が強く規制されること、就活しても仕事があるのかという不安など、私たちのキャンパスライフを大学が奪っています。すべては「新自由主義」と

いうシステムが社会全体を支配していることが原因です。

学生の声を抑え、新自由主義に従順な人材づくりを大学側が行っています。こんなことを決して許してはなりません! 私たち学生が、今こそ声を出して訴えるときです! 大学のあり方を徹底的に問いただし、希望あふれるキャンパスライフを私たちの手で実現させよう! 新自由主義をうち破り、労働者が一人ひとりが大切にされる社会をつくるために、全学連大会で怒りを爆発させよう!!

◆首都圏A大学・学生

いま日本では、原発事故で多くの人々が苦しんでいます。しかし、電気は足りていることや、多くの労働者の被曝の上に原発が成り立っていることが証明されているにもかかわらず、政府や事故を起こした東電はそういった事実を隠し、またこれからも原発を動かし続けようとしています。「再稼働」? 「原発は安全」? 「想定外」? ふざけんなッ!!

結局これは、原発で儲けてた奴らが人の命と金を秤にかけて、金を選んだってことじゃねえか!! それを正当化するために言い訳してるだけじゃん! この状況に対し僕たちに何ができるんでしょうか。それはズバリ、同じ問題意識を持った仲間と議論し行動することです。その第一歩として、ぜひ全学連大会に集まろう。君の結集、待ってるZE!

◆首都圏B大学・学生

首相が野田に変わり、「脱原発」の流れが一層あやしくなってきた。最近では「復興のために経済を停滞させてはならないから原発もしょうがない」という内容のない意見もちらほら出てきた。非正規雇用の増大、外注化と被爆労働、政官業の癒着など、原発事故は放射能汚染だけでなく、日本の社会の体質と資本主義の構造を明らかにした。だから僕たちは、細かい政策的な議論だけにとらわれず「人間らしい生活が守られているか」「10年先、20年先の社会はどうあるべきか」ということに答えなければならないと思う。

何より、僕たち学生が声をあげること、勇気をもって行動すること。政治的なものを恐れないこと。今こそ全国の仲間と連帯して声をあげよう! 全学連大会に行こう!

全学連第72回定期大会

- ◆全原発の停止・廃炉!
- ◆「教育の民営化」と対決し、学生自治会を甦らせよう!

【日時】 9月9日(金)～10日(土)
※9日午前9時半に開会

【会場】 9日：文京区民センター
(東京都文京区本郷4-15-14)

10日：浜町区民館
(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

原発再稼働阻止!

9・11

反原発全国一斉アクション

東京・新宿デモ! 14時にアルタ前集合

*全原発停止か、再稼働か。全学連大会の成功から9・11百万人デモの爆発に未来がかかっている。野田新政権は「原発推進一大増税政権」だ。9月決戦の先頭に学生は立とう!